

デヴィッド・ボウイ

幻想と素顔の狭間で

グラムロックの「革命児」から
世界の「大スター」へ：序章





2016年1月、肝臓により69歳で死去したデヴィッド・ボウイ。その2日前の誕生日にアルバム『ブラックスター(★)』をリリース、グラミー賞5部門を受賞するなど最後まで創作意欲を失わなかった**伝説のロックスターの初期の時代を回想**する。60年代後半、ボウイはグラムロックの先駆者として注目を集め、2枚目のアルバム『スペース・オディティ』が大ヒット。その奇抜なファッションとパフォーマンスで世界を席卷していく。

本作では、BBCのプロデューサーのジェフ・グリフィンらがボウイがいかにしてスターダムに上り詰めていったかを語るほか、バックバンドの「スパイダーズ・フロム・マーズ」として、ボウイと一つの家に住み、ボウイのアルバム制作やツアーに参加したハービー・フラワーズ、ウッディ・ウッドマンゼイが、**制作秘話や解散までを証言**。なかでもボウイとともにグラムロック文化とファッション・スタイルを築いていき、「**5人目のバンドメンバー**」と言われる、**元妻でプロモーターのアンジー**が語るボウイとの出会い、**ボウイの実像、ヒットの舞台裏**は興味深い。

親日家として知られるボウイが日本の衣装やメイクに興味を持ち、それをファッションにどう加えていったかも語られる。加えて、**オフショット写真、初期のライブ映像や写真**など、グラムロック時代のボウイの変遷を辿る資料も多数収録。ウッディ・ウッドマンゼイが「ゴールに着いた時よりゴールを目指す時間の方が幸せ」と話す、デヴィッド・ボウイが、**グラムロックの「革命児」から世界の「大スター」へと駆け上るまでを、共に過ごした当時の仲間たちが語る、光と陰のストーリー**。

CAST

デヴィッド・ボウイ(アーカイブ)
ハービー・フラワーズ、ウッディ・ウッドマンゼイ
アンジー・ボウイ、ティム・レンウィック、ジェフ・グリフィン
トレヴァー・ボルダー

2007年 / イギリス / 64分 / カラー / 1.85:1 / ステレオ / 英語 / 原題「David Bowie: Up Close and Personal」 / 字幕監修: 朝日順子 / 配給: NEGA
<https://davidbowiedoc.com/> [davidbowie2025](https://davidbowie2025.com/)

2025.01.10 ROAD SHOW